神奈川県教育委員会教育長 殿

県立 麻生高等学校長

令和5年度 学校評価報告書(目標設定・実施結果)

おおよった年本人の2 おおよった おおいまた まおいまた	E体的・対話的な深い した、教育活動の推進
2	E体的・対話的な深い した、教育活動の推進
1	た、教育活動の推進
日本	
## 2	to
2 世報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報	
### 2	推進するため、留学生
取書課程 野富精導	かた国際交流、校外の
数有課程	で流を積極的に取り入
中国報告の表現する	立つ人材の育成を目指
□ () 上 (
□	
中央	
で、国際交流事業 会成にからした」であるに推進する。	
空神 大き	
まざまな教育活動を展開する。 ②学校生活、特別活動を展開する。 ②学校有事・部活動の音性化を目を発育するとも、、一般からと思われた運営を利用する。 ②多様な価値報を認め、調上を学校行事の画数を作物、する。 ②多様な価値報を認め、できるよう化の中間がある。 ②多様な価値報を認め、を関うなから中間計画を立てる。 ②の生体に対象を関われた事の画が表して、実体の対象として、生性の部がは、となるため、実が問題ととして、、一般ができたか。 ②多様な価値報を認め、対しては、影響を通して、生性の対象として、、一般ができたか。 ②多様な価値報を認め、対しては、一般の対している。 ②多様な価値報を認め、を構築できる生徒を育成する。 ②多様な価値報を認め、を構造するととも、、一般の特別を持ち、望ましい人間解係を構築を習る生徒を育む、なる。 ②多様な価値報を認め、を構造する。 ②多様な価値報を認め、を構造するととも、、一般の表したのできるようにして、生性の部が表性化を目が、変な感性を含む、必要な感性を含む、多な。 ②多様な価値報を認め、対し、学校である。 ②多様な価値報を認め、対し、学校である。 ②多様な価値報を認め、対し、学校の両立を選がしまして、この主体的な意思とを表して、生性の高速を表して、大きがしましている。 ②多様な価値報を認め、対し、学校をの両立を選別のよれた事のの一定を対けるができた。 ②の相がからもも思慮して、、一般がある。 ②の生体に対象を検討されて事なの一般を対する。 ②をは、実験を表していて、大きなのである。 ②をは、実験を表して、大きなのである。 ②をは、実験を表して、大きなのがある。 ②をは、実験を表して、大きなのが、またい、中学校で表し、、地域の行すへの参加を子もっとを、会はしてほしい。 ②を表しているのだろうか。 ②をは、実験を表して、いんで数がある。 ②をは、実験を表して、、いんで数が、またい、のである。 この主体を表にして、いん変数がある。 ②をは、実験を表して、、、の主体の活動が、大きなより、中学のところが大きい、、高語の学校生活が可能になってきた。 を表しい、通いのを持っ、となかま、数がで動した。 この主体がまたい。 の主体がなどのよいに対しては、地域、家庭とと、 など学なのルールを でおないの手はした。 ②を表のからと おしているともなり、しているのだろうか。 この主体が主に、 この主体が表を信して、 いん変数がある。 ②を表しいるのにより、してももっとを、 など学なのルールを でおないに関係を検測 など学なのルールを でおないの手ははした。 ②を表のからと など学なのルールを でおないの手ははした。 ②を表したらと協力して、生体がするよう、カーマを表しまして、 のまと様の対しては、 地域、家庭と してももっとも 協力して、生体に対して、検索をとともに、 またいの主体を対して、対して、対し、対して、は、対して、対し、、対して、対し、、対して、対し、、対して、対し、、対して、対し、、地域、家庭と と、 など学なのルールを でおないの手は は、ないのでは、人間をないのより、 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	
全機用する。	
②学校生活、特別活動を 通して豊かな人間性と 社会性・規律意識を備 えた生徒を育成する。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
□ 学校生活、特別活動を 通して豊かな人間性と 性、性・性、健・強を適して、生徒 を全通して、生徒 を主体の主体的な活動を 合たり、生徒に力、 産業所防止対策を十 となども、 こまのかな人間性と 物を通じて、生徒 の素負合が、学校 成力を整める。 常を可して、生徒 の素負の意欲と協 関連を図る。 ②自主・創造の意欲と協 関した学校育事の選 の議を図る。 ②を株の価値観を認 の調養を図る。 ②多株な価値観を認 の調養を図る。 ②多株な価値観を認 の活動の活性化を目 特し、学習との何で 全国りながら年間計 成する。 ②をはに見めぬき となるため、試行錯誤する面があった が、新しい発想を取り入れた行事の企 関連を行うことができた。 ②を様に規範意識を を構築できる生徒を育 成する。 ②をはに規範意識を を密接に図り、生 後が安もして学校 事が放して学校 を密接に図り、生 後が安もして学校 事が放して学校 生きていくために を構施の活性の 事が入した。 ②生徒の解説動力 ない の変し会が学校行事 の服 要を立て、 金優し できていくために 必要な感性を育 できるように、して、生徒 からまとのであり、加 り入れた学校行事 の服 要を重され、大きい の変し会が学校行事 の変 多ように、して、生徒 が まるように、生徒 が まるように、生徒 が の素色を密にして いく必要がある。 ②にて、生徒 が のま体的な意見を取 り入れた学校行事 の服 要を重され、大きい の変しをが かる。 ②にて、生徒 が の素色を密にして いくとをがもあった が、新しい発想を取り入れた行事の企 関連を行うことができた。 ②前が直接について、人間性の調楽 社 会性の育成等に資するものであり、加 力・単の形面動力・ できた。 ②にて、化粧、遅刻 かる。 ②にて、水・酸性の音が、大きい、のがたらみ。 ②にて、大・、 力・単の形面動力・ できた。 ②にて、大・、 変なと権に対して、人間性の調楽 社 会性の育成等に資するものであり、加 力・単のにと からを発を密にして いく必要がある。 ②にて、水・気をと指達を指して、力・、の自転事事がが多発傾向であることを まえ、交通ルールの順守に対して、P 不等とも協力して、生徒に対して、り伸に対して、 クース会議を話して、 かっとできるよう、全様を対して、り伸に対して、 やっれない一部の生食 で対しては粘り強 く、経験した指導 と かっと 協力していきた く、経験した指導 ないしては粘り強 く、経験した指導 ないしてもも。と協力していきた 人、経験した指導 ないしてもも。と協力していきた 人、経験した指導 こ で、おらにとし、 の違を対している で、対しては粘り強 く、経験した指導 ないしてきるよう、今年度の実験をから、 のまでものと、 ②のこ、S S W を有効に活用 し て、生後の実後を高にしていると響を高にしていると響をある。 ②にしては粘り強 会ともにカレて、生徒がするものでな それのにした。 第を行うとともに対して、検ができるよう、今年度の実験をある。 ②歌題を抱える生徒に対して、的にだった。 ②のよりに表が表し、 のまに対して を変した指導 で、2 S C、S S W を有効に活用 して、これが表した。 ②のよりに対しては、対し、変にとしてもも。とは、ためでは、対しては、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、	
通して豊かな人間性と 社会性・規律意識を備 えた生徒を育成する。 生徒の自主的な意 密楽頭の払大防止に	 ぶ主体的に活動する」
社会性・規律意識を備えた生徒を育成する。	を支援する体制を作
全性指導・ 全性指導・ 全性指導・ 全機・図る	肯定感を育成し、自律
②自主・創造の意欲と協調・協働の精神を持ち、望ましい人間関係を構築できる生徒を育成する。 ②生徒指導・支援 生徒指導・支援 ・ 大変 ・	助に取り組む意識を高
②自主・創造の意欲と協 調・協働の精神を持 ち、望ましい人間関係 を構築できる生徒を育 成する。 2 生徒指導・ 支援 2 生徒指導・ 支援 2 生徒指導・ 支援 2 生徒指導・ 大密接に図り、生 後で安心して学校 大密接に図り、生活を送れる支援 体制を構築する。 2 生徒かは変かして学校 生活を送れる支援 (本制を構築する。) り、品位ある態度と 性利を構築する。 2 生徒かは事なら、生徒を 力がに当た かと実施することができた。 ②前の立ち番指導や を実施することに より、生徒が自主 かにルールを守ることに より、生徒が自主 かにルールを守ることに などを積極的に活用 することができた。 ②前の立ち番指導や を実施することに より、生徒が自主 かにルールを守ることができた。。 ②前の立ち番指導や を実施することに より、生徒が自主 かにルールを守ることができた。。 ②前の立ち番指導や を実施することに より、生徒が自主 かにルールを守ることができた。 ②かるどを接ばの別、生徒が自主 かにルールを守ることができた。。 ②は存的な意見を取 り入れた学校行事の 変質を推進すること など学校のルールを 守たいいールを守ることができた。。 ②とはの部活動加入率 が向上した。 ②とするとのであり、加入率の向上、活動の自主的な運営に向して、最大の面といるのだろうか。 ③とはの部活動加入率 が向上した。 ②とができた。 ②と上に、大生後に対するを ですれない一部の生徒 に対しては粘り強 く、継続した指導が と変がある。 ②まるように、生徒と ができた。 ②とど学校のルールを 守たいいってほしい。地域、家庭と してもっと協力して、生徒に対して、り確な支 を深を行う必要がある。 ②とともに、ケース会議を活 がいできるよう、大生後の対と変がある。 ②とともに、 クース会議を活 ができること、な要である。生徒 は対しては粘り強 く、継続した指導が と、発を行う必要がある。 ②家と、SSWを有効に活用し を要である。生徒 を要である。生徒 を要である。生徒 を要である。生徒 を要である。生徒 を要である。生徒 を要である。生徒 を要である。生徒 を要である。生徒 を要である。生徒 を要である。生徒 を要である。生徒 を要である。生徒の対とである。とな。 を要である。生徒 を要である。生徒 を要である。生徒 を要である。生徒 を要である。と、な要である。生徒 を要である。生徒の対とできるよう、今年度の実績をふま。 のな対して、の地な文 を表でのとの、変がある。と、な を要である。生徒を対して、的確な支 を表でるるとう、な要である。生徒 を要である。生徒が見して、ものを表をを を表でるる。)、今年度の実績をふま。 成がするとか。 成がするとか。 成がするとのに、 の数職員のカウン 成するとか。 成がするとか。 成がするとか。 などを、などのに、などものに、ことができるとう。 などを、などのに、であると、を、な でが、こと、ことができるとう。 など、など、など、など、など、など、など、など、など、など、など、など、など、な	
全性指導・支援 生徒指導・支援 生活を送れる支援 作業を心して学校 生活を送れる支援 作制を構築する。 生活を送れる支援 作制を構築する。 生活を送れる支援 作制を構築する。 の自体的な意見を取 定期試験中の服 装・頭髪チェック 定用計計 画を立てる。 の主体的な意見を取 定期試験中の服 装・頭髪チェック を実施することに 必要な感性を育て る。 となって関係各機関 との連絡を密にして いく必要がある。 ①時間にルーズな生徒が増えて きているのだろうか。 会性の育成等に資するものであり、加 入率の向上、活動の自主的な運営に向けて、取り組む必要がある。 ②基本的な生活者 発を図る。 2 生徒指導・支援 生徒指導・ 大機関等との連携 を密接に図り、生 技術できるため、 全域の自力とないできたか。 全域を形成して学校のルールを守る ことができたか。 全域を形成して学校のルールを守む ために行うの。 ①自転車通学のマナーについ で、取り組む必要がある。 ②基本的な生活者 発を図る。 ②とその部活動加入率 いってほしい。地域、家庭としてもっと協力していきたいのではは、変施としてもっと協力していきたい。 となど学校のルールを守むいってほしい。地域、家庭としてもっと協力していきたい。 となど学校のルールを守むにおり強力を関するものであり、加入率の向上、活動の自主的な運営に向けて、取り組む必要がある。 ②をとるともなど学校のルールを守むとというを対して、P でいない一部の生徒に対していると協力していきたい。 ②などともに、 なり、生徒に対して、的確な支地の できない。 全様に対して、的確な支地のできるよう、今年度の実績を記述していると協力していると協力していると協力していきたい。 と、 企業を行むると協力していきたい。 企業を行むると協力していると協力していきたい。 ②とがした指導が、 などではおり、 い。 ②素を行むの表が必要である。 全、 は、対してはおり強し、 できた。 その反 できた。 その反 できた。 その反 個々に対して様々な できた。 その 反対を対して、 などの支援をお願いした できた。 その 反対をできるよう、今年度の実績をふまえて、 さらにSC、SSW等との連携 成するために、 かできた。 その 反対を対して、 など、 など学校のルールを では、 など学校のルールを では、 対してはおり強し、 などでは、 対してはおり強し、 など、 は、 対してはおり強し、 など、 は、 対しては、 対しては、 対し、 と、 ができるよう、 全域を対して、 対しては、 対しと、 などのできる。 全域のである。 全域のである。 全域のでは、 対しては、 対しては、 対しては、 対しては、 対しては、 対しては、 対しては、 対しては、 対しでは、 対しては、 対しに、 対しては、 対しては、 対しと、 対しては、 対しな、 対しな、 対しな、 対しな、 対しな、 対しな、 対しな、 対しな	に継続的に取り組み、
全構築できる生徒を育成する。 生きていくために 必要な感性を育て 成する。 生きないくために 必要な感性を育て 必要な感性を育て る。 定期試験中の服装・頭髪チェック を実施することに より、生徒が自主 的にルールを守る ことができた。 できた。 ことができた。 実施することを おからに、 全密接に図り、生徒が安心して学校 生活を送れる支援 作用を構築する。 のよれた学校行事の 運営を推進すること ができた。 できた。 できた。 ことができた。 など学校のルールを 守れない一部の生徒 に対しては粘り強 など学校のルールを 守れない一部の生徒 に対しては粘り強 く、継続した指導が などでおおむ などでおおむ などでおおむ などでおおむ などでおおむ などでおおむ などでおおむ などでおおむ などでおおむ などをない。 全活を送れる支援 り、品位ある態度と 体制を構築する。 生徒を身につける とのする。 生徒 社会性を身につける まえ、交通ルールの順守に対して、P ののに入うか。 できた。 その反 体制を構築する。 入率の向上、活動の自主的な運営に向 けて、取り組む必要がある。 でする。 など学校のルールを まえ、交通ルールの順守に対して、P ののに入りの必要がある。 ですれない一部の生徒 に対しては粘り強 く、継続した指導が などでおおむ ないできた。 できた。 その反 体制を構築する。 会ともに対しては粘り強 などでおおむ などでおおむ ないできた。 その反 体制を構築する。 会に対しては粘り強 などでおおむ ないできた。 その反 個々に対して様々な できるよう、今年度の実績をふま 成するために、 などの主携 成するために、 などの主携 成するために、 などの主機 成するために、 などの主機 成するために、 などの主機 のカウン などのもの。 などを行列に活動の自主的な運営に向 いく必要がある。 では、 など学校のルールを 守れない一部の生徒 に対して、地域、家庭と してももっと協力していきた ない。 全課題を抱える生徒に対して、的確な支 ができるよう、今年度の実績をふま 成するために、 などのできるよう、 などでおかいできた。 その反 成するために、 などのできるよう、 などである。 生徒 ができるよう、 などの支援をお願いした まて、 などの主機 成するために、 などのできた。 などを対験に対して、 などの支援をお願いした まて、 などの支援をお願いした なて、 などでもない。 などを対験に対して、 などできるよう、 などでもない。 などできるよう、 などの支援をお願いした まて、 ならにSC、SSW等との連携 成するために、 などができた。 などを行事の はなど学校のルールを はないできた。 など学校のルールを はないできない など学校のルールを はないできない など学校のルールを はないできない など学校のルールを はないできた。 など学校のルールを はないできた。 などでおおむ などがないできた。 などでおおむ ないできた。 などでおおないできた。 などでもないできた。 などでおおないできた。 などでおおないできた。 などでもないできた。 などでもないできた。 などができた。 などができないできないできた。 などではないできないできないできた。 などができた。 などができた。 などができた。 などがないできないないできないできないできないできないできないできないできないできない	上体的な活動の支援を
全 生徒指導・ 支援 成する。 必要な感性を育て る。 適應立てる。 ②生徒に規範意識を 確立させ、全職員で 身だしなみ、情報モ ラル等の指導に当た 生活を送れる支援 体制を構築する。 装・頭髪チェック を実施することに より、生徒が自主 りにレールを守る ことができた。 ②生徒がSC、SS 地会積極的に活用 することができた。 運営を推進すること ができた。 ②生徒の部活動加入率 が向上した。 ②立ち番指導や服装チ エックなどでおおむ ねルールを守ること ができた。その反 ①自転車運学のマナーについ できた。 ②ピアス、化粧、遅刻 など学校のルールを 等れない一部の生徒 に対しては粘り強 く、継続した指導が 必要である。生徒 の要である。となも のに行う。 の要称員のカウン 成するために、 のですると のですると の成すると のですると のですると の成すると のですると の成すると のでする のですると のでする のでする のでする のでする のでする ので のでする ので ので ので ので ので ので ので ので ので ので ので ので ので	
2 生徒指導・支援 ②生徒に規範意識を 確立させ、全職員で 接続協力して、全職員で 支援 ②生徒に規範意識を 確立させ、全職員で 強力により、生徒が自主 りにルールを守る ことができたか。 ②生徒が客して学校 生活を送れる支援 体制を構築する。 ②生徒に規範意識を 確立させ、全職員で はり、生徒が自主 りにルールを守る ことができたか。 ②生徒が客C、SS サル等の指導に当た 生活を送れる支援 体制を構築する。 ②生徒に規範意識を 確立させ、全職員で より、生徒が自主 りにルールを守る ことができたか。 ②生徒の部活動加入率 が向上した。 ②立ち番指導や服装チ エックなどでおおむ ない。 ②生徒が客C、SS サルラなどでおおむ ない。 ②生徒が客C、SS サルラなどでおおむ ないできた。 その反 個々に対して様々な で、生徒の支援をお願いした まえ、交通ルールの順守に対して、P アルタの間等に対して、生徒に対する啓 など学校のルールを 守れない一部の生徒 に対しては粘り強 く、継続した指導が ない。 ②素を行う必要がある。 ②課題を抱える生徒に対して、的確な支 りに行う。 ②素を図る。 ②なとともに、ケース会議を活 かい。 ②課題を抱える生徒に対して、的確な支 りに行う。 ②教職員のカウン 成するために、 など学校のルールを でれない一部の生徒 に対しては粘り強 などでおおむ ない。 ②課題を抱える生徒に対して、的確な支 ができるよう、今年度の実績をふま 成するために、 ②教職員のカウン 成するために、 ②教職員のカウン 成するために、 ②教職員のカウン 成するために、 ②教職員のカウン 成するために、 ②などともに、 など学校のルールを でれない一部の生徒 に対しては粘り強 ない できるよう、 ○の課題を抱える生徒に対して、 のできるよう、 ○の支援をお願いした また、 ことができるよう、 ②教職員のカウン 成するために、 のは など でおから ない できた。 その反 個々に対して様々な で、生徒の支援をお願いした また。 ことができるよう、 ②教職員のカウン 成するために、 のなどを対して、 など学校のルールを では、 などの表しない。 ②素を行う必要がある。 ②素を行う必要がある。 ②素を行う必要がある。 ②素を行うとない。 ②素を行うとない。 ②素を行うとない。 ②素を行うとない。 ②素を行う必要がある。 ②素を行うとない。 ②素を行う必要がある。 ②素を行うとない。 ②素を行うとない。 ②素を行うとない。 ②素を行うとない。 ②素を行う必要がある。 ②素を行うとない。 ②素を行うない。 ②素を行うとない。 ②素を行うとない。 ②素を行うとないる ではないる ではない。 ②素を行うとないる ではないる では	責の確立に向けて、P
2 生徒指導・ 支援 生徒指導・ 支援 など学校のルールを 部機関等との連携 を密接に図り、生 徒が安心して学校 生活を送れる支援 体制を構築する。 より、生徒が自主 遅 刻防止・挨拶・ 身だしなみ、情報モ ラル等の指導に当た 生活を多れる支援 体制を構築する。 より、生徒が自主 路関野との連携 シル等の指導に当た な生徒ができたか。 り、品位ある態度と 体制を構築する。 より、生徒が自主 的にルールを守る ことができたか。 少生徒がSC、SS Wを積極的に活用 することができた。その反 ①生徒の部活動加入率 が向上した。 ②立ち番指導や服装チ エックなどでおおむ ねルールを守ること ができた。その反 など学校のルールを 守れない一部の生徒 に対しては粘り強 く、継続した指導が 必要である。生徒 ②SC、SSWを有効に活用し で、生徒の支援をお願いした ことができるよう、今年度の実績をふま えて、さらにSC、SSW等との連携 ②SC、SSW等との連携 めに行う。 ②教職員のカウン 成するために、	と連携して、意識の啓
2 生徒指導・ 支援 生徒指導・ 支援 単位は指導・ を密接に図り、生 徒が安心して学校 生活を送れる支援 体制を構築する。 遅刻防止・挨拶・ 身だしなみ、情報モ ラル等の指導に当た 生活を送れる支援 体制を構築する。 的にルールを守る ことができたか。 ②生徒がSC、SS サ、品位ある態度と 体制を構築する。 が向上した。 ②立ち番指導や服装チ エックなどでおおむ ねルールを守ること ができた。その反 守れない一部の生徒 に対しては粘り強 る、継続した指導が みルールを守ること ができた。その反 いってほしい。地域、家庭と してももっと協力していきた な、継続した指導が る。 ②SC、SSWを有効に活用し で、生徒の支援をお願いした T A等とも協力して、生徒に対する啓 発を行う必要がある。 ②課題を抱える生徒に対して、的確な支 を、②教職員のカウン 成するために、 のに行う。 ②教職員のカウン 成するために、	
2 生徒指导・ 支援 を密接に図り、生 徒が安心して学校 生活を送れる支援 体制を構築する。 身だしなみ、情報モ ラル等の指導に当た り、品位ある態度と 体制を構築する。 ことができたか。 ②生徒がSC、SS Wを積極的に活用 することができた ができた。その反 ができた。その反 個々に対して様々な 個々に対して様々な 個々に対して様々な 個々に対して様々な で、生徒の支援をお願いした こともっと協力していきた 発を行う必要がある。 ②課題を抱える生徒に対して、的確な支 後ができるよう、今年度の実績をふま ②教職員のカウン 成するために、 の数職員のカウン 成するために、	・部機関等との連携を
支援 を名後に図り、生 徒が安心して学校 生活を送れる支援 すたしなみ、情報で ラル等の指導に当た 少、等の指導に当た 生活を送れる支援 ②生徒がSC、SS 収を積極的に活用 することができた インス臓をに対しては粘り傾 エックなどでおおむ おルールを守ること 必要である。生徒 ひとももろと協力していきた い。 ②課題を抱える生徒に対して、的確な支 援ができるよう、今年度の実績をふま えて、さらにSC、SSW等との連携 的に行う。 ②教職員のカウン 本の反 個々に対して様々な できた。その反 て、生徒の支援をお願いした えて、さらにSC、SSW等との連携 成するために、	「サポートドック」、
使が安心しく学校 グル等の指導に当た ②生徒からし、S S エックなどでおおむ く、継続した指導が い。 ②味趣を抱える生徒に対して、的確な文 的に行う。	月した情報共有を有機
体制を構築する。 社会性を身につける することができた ができた。その反 個々に対して様々な て、生徒の支援をお願いした えて、さらにSC、SSW等との連携 成するために、	
TO SERVED A CONTROL OF THE PROPERTY OF THE PRO	肝修等を通じた実践的
よう指導する。 か。また、外部機 面、遅刻をして登校 アプローチをしなが い。 を図る取組を進めていくことが求めら な取組を行う。	
②SC、SSWを効果 関等との連携がで する生徒が年々多く ら指導の仕方を工夫 れている。	
的に活用し、教育相 きたか。 なってきている。 していく。 ②SC、SSWの活用 ②毎週来校する体制に	
との連携等により、 については、毎週相 なったので、もっと	
効果的な生徒支援に 談日の設定ができる 有効活用ができるよ	
当たる。 はように生徒に周知し うにしたい。サポー	
ながら、積極的に活しトドックをうまく活し	
用できた。 用したい。	
①高い志に根ざした第一 ① 3年間を通じた ①生徒対象進路説明会 ①進路希望調査、担 ①生徒対象進路説明会 ①進路説明会などで情 ①1年次からオープンキャンパ ①生徒の自己実現に向けての支援体制は ①大学入試等、進	 &選択をめぐる仕湿の
	るえ、生徒、保護者等
	是供を行うとともに、
進度を達していた。 回り 4年自身 で はずめに宝板と ウはての土白州と ち	
3 連節拍导・ もよ何みいず校投道を ぶら仏を強さす フ	アリア形成に向けて取
. │ │ ▽ 憶	『の期間(大学等)と
	の能力の育成に取り組
形成に寄与す 実施する。 ②実用英語技能検定 提供した。 早めにオープンキャ スキルアップを図っている 体的な諸能力の育成に向けて、さらに む。	
②英語検定、「総合的な る。 ②英語4技能を利用し 準2級の取得率を ②実用英語技能検定の ンパスなどに積極的 か。 取り組む必要がある。 ②「総合的な探究	

	10 F	4年間の目標 (令和 年度策定)	1 年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	総合評価(3月28日実施)	
	視点			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等	(3月8日実施)	成果と課題	改善方策等
		探究の時間」等を活用	①進路情報を的確に	た大学受験のシステ	前年度より向上さ	取得と進路実現との	に参加し、キャリア	②英検合格率の実績については	②英語検定の合格率が低迷している状況	内に推進グループを立ち上げ、他の先
		して、4技能の英語教	提供する機会を設	ムを生徒に提示し、	せることができた	関連を理解させ、資	形成に結び付ける進	について、徹底して指導して	をふまえて、進路に直結する各種検定	進事例等も参考に、指導内容の充実を
		育の充実、言語能力・	定し、進路実績の	実用英語技能検定の	か。	格取得への動機づけ	路選択ができるよう	向上を図ってほしい。	の受験を促すとともに、学力の定着に	図る。
		コミュニケーション能	質的向上を図る。	取得と進路実現との	②探究活動の充実を		に働きかけていきた		向けて、全校で取り組む必要がある。	②各種検定の合格率向上のため、教科活
		力・課題解決力等を伸	②国際社会で活躍で	関連を理解させ、資	図り、その成果に		ν _°			動における指導目標を明示し、生徒の
		長することで、進路実	きる人材の育成を	格取得への動機づけ	ついて発表会等を					達成満足度を向上させる。
		現につなげる。	目指し、ステップ	とする。	通じて発信するこ	の時間」において、	間」については、生			
			のひとつとして実	②各学年の「総合的な	とができたか。	生徒一人ひとりが自	徒の課題解決能力の			
			用英語検定の準2	探究の時間」におい		律的に課題の考察に	育成に向けて、体系			
			級取得率の向上を	て、生徒一人ひとり		向けた探究サイクル	的な指導計画を立案			
			目指す。	が自律的に課題の考		を形成するよう働き	するよう、校内での			
			②「総合的な探究の	察に向けた探究サイ		かけた。	研究体制を作った			
			時間」を、教科横 断的で主体的な課	クルを形成するよう 働きかける。			が、全体的な動きに なるまで至らなかっ			
			題探究・解決能力	割さかりる。			たため、次年度にか			
			の伸長を図るよう				けてさらに研究を重			
			改善する。				ね、取り組む。			
		①PTA・同窓会・地域	①小中学校や地域等	①学校運営協議会等を	①地域、校外機関等	①コロナ禍で制約の多		①安心して通わせる学校として	①小中学校、地域との行事等を通じた交	①小中学校の行事、教育活動. 地域の行
		との連携・交流を深	との連携を深め、	通じて、開かれた学	の外部人材の教育	かったさまざまな取	だけではなく、地域	評価している。	流が、ようやく新型コロナウィルス感	事等に、本校生徒が関わる機会を増や
		め、地域に開かれた学	開かれた学校づく	校づくりを目指して	力を活用する取組	組が可能になってき	の特性に合わせて、	①さまざまな場面で、地域との	染前の水準まで戻ってきた。今後も、	し、共助の関係の下、生徒の諸能力の
		校作りを推進する。	りを推進する。学	各方面からの助言を	を行うことができ		生徒の主体的な活動	協力体制を作っていきたい。	交流活動を続けていくための学校側の	育成を図る。
			校運営協議会等を	受け、地域や近隣小	たか。	に積極的に参加し、	を促す取組を一層進	②学校の教育活動をより積極的	取組体制を構築していくことが求めら	②HPの内容をさらに充実させ、本校の
			通じて、外部人材	中学校との連携を図		実績を重ねることが	めていく必要があ	に発信してほしい。説明会等	れる。	特色、魅力を外部に発信できるように
			の活用を図り、教	る。		できた。	る。	で生徒が前面に出て活躍する	②HPの内容をタイムリーに更新し、学	する。
			育力の向上につな			①外部人材の活用とい	①学校運営協議会の部	姿は好ましい印象を持つ。	校の状況を発信するように努めた。ま	②生徒が主体的に学校説明会等の運営に
		②「国際社会で貢献する	げる。			う点では、学校内の	会における取組をよ		た、学校説明会、オープンスクール等	かかわる中で、メディア等を通じて、
		高い志を持つグローバ	②HP等を通じて生	②学校説明会や学校H	②興味関心を持たせ	取組を深めていきた	り活発化させ、地域		の企画内容を一新し、本校の魅力をア	本校生徒の活動をアピールしていく。
	地域等との	ル人材の育成」をスロ	徒の活動の実績や	P等を活用して、地	るような見やすい		との協働、連携を図		ピールするように努めた。	
	協働	ーガンに国際教育、英	学校の取組につい	域や受検生、県民に		②学校説明会や学校H	る必要がある。			
		語教育、芸術教育を県	て積極的に情報を	対し、本校の特色と	いたか。また、更		②本校において安心・			
		民に積極的に発信し、	発信し、本校の魅	魅力について効果的	新頻度を高め、分		安全・落ち着いた環			
		意欲ある生徒の獲得を	力と特色について	に発信する。特に説	かりやすい学校説		境で勉強や部活動に			
		目指す。	アピールする。ア ドミッションポリ	明会では、司会や説 明等を生徒が行い、	明会の実施や動画 配信により本校の	力を発信した。今年は授業や校内の様子	取り組むことのでき る魅力をさらに発信			
			シーの浸透を図	生徒主体となる説明	転信により本校の 特色や魅力を発信		できるようにする。			
			り、目指すべき生	会になるようにす	し、志願者数の増	· ·	志願者数を増やすた			
			徒像をもとに、教	云になるようにする。	加を図ることがで		めに、今後も学校H			
			育活動の充実を図	₩ 0	きたか。	説明等を行い、各行	Pに写真や動画を掲			
			る。		27277 0	事を円滑に進行する	載し、更新頻度を増			
						ことができた。	やすよう努める。			
		①教育公務員としての高	①不祥事ゼロプログ	①年間を通じて、計画	①不祥事防止研修を		①不祥事防止研修を定	②地域防災の観点から、自治	①欠席連絡等の保護者等との情報のやり	①校務のICT化についてある程度の水
		い使命感と倫理観を持	ラムに基づいた不	的な研修を実施する	実施し、リスク回	員会議と同時に定期的	期的に実施し、事故防	体、地元と連携した防災訓練	取りについてICTの利活用を積極的	準に達してきたことをふまえ、さらに
		ち、不祥事防止に取り	祥事防止研修を適	ことにより、不祥事	避を図り、事故防	に実施し、事故防止に	止についての意識啓発	の実施等に取り組むことが望	に推進し、正確性、迅速性の向上を図	バージョンアップを図り、業務整理に
		組むとともに、協働と	宜実施するととも	防止に取り組む。	止に努めることが	努めることができた。	を図った。昨今の社会	ましい。	った。	結びつけていく。
		ライフワークバランス	に、協働意識の醸	①業務の環境整備を進	できたか。	②コロナ禍で実施を見	情勢を鑑み、時機を見		①組織的な学校運営と校務の効率化を図	②行政機関、地域の自治会などと連携し
		を意識して職務に取り	成に向けた体制作	め、業務内容の精選	①風通しの良い職場	合わせていた防災・避	て、今後とも継続的に		り、「働き方改革」を推進し、長時間	て防災用品の備蓄、防災体制の構築に
		組み、働き方改革を推	りに取り組む。業	や可視化を図る。	づくりをすること	難訓練を再開し、生	取り組む必要がある		勤務の是正、業務負担の軽減にさらに	向けて、連携を強化する。
	>><	進する。	務内容の精選、可		1	徒・職員の防災意識を			取り組む必要がある。	
	学校管理		視化を図り、ワー			高めることができた。	した防災体制の構築に		②地域と連携した防災体制を推進し、発	
	学校運営		クライフバランス		化を図ることがで		ついては、取り組むこ		生が予測される「南海トラフ地震」	
		②保護者・地域・県民か	を意識した業務の	@ .LE ## // #> - => # :	きたか。		とができず、課題が残		「首都直下型地震」等の災害に備え	
		らの信頼と期待に応え	効率化を図る取組	②大規模災害の発生に	②学校全体として、		った。		て、対策を強化していく。	
		る安心・安全な学校づ	を推進する。	備え、教職員の防災	防災意識を高める					
		くりを進める。	②教職員の防災意識	意識を高めるととも	ことができたか。					
			を高め、地域と連集した実践的な時	に、地域、自治体と連集した時代体制の	②地域、自治体と連集した時が休制の					
			携した実践的な防 災対策を進める。	連携した防災体制の構築に取り組む。	携した防災体制の 構築に取り組むこ					
	· ·			A HALFORN TO 11 TOH O P	. AH-12-1 DV 1 XH 0 P.			•		